



今月の記事

理事長挨拶

今年の抱負

クリスマス

今月の愛の園



理事長
宮崎靖子



新年を迎えて

あけましておめでとうございます。晴れ渡った美しいお元日を迎え、なんと有難いことかと先ず、美しい空を見上げました。

「今年が良い年であるように」「皆が幸せであるように」と皆同じ思いで新しい年を迎えられた皆さんと、顔と顔を合わせ新年のご挨拶を交わした時から、私の新しい年が動き出しました。『ああ、此処が私の力の源なのだ!!』とその思いをしみじみ噛みしめてのスタートでした。

今年は、午年ですね。あの大きな優しい目、惚れ惚れする姿、疾走する雄姿に誰しもが憧れますね。その馬が縁起のよい動物とされるのは「物事がうまくいく」「幸運が駆け込んでくる」と信じられているからです。太古の時代から人間と共に生きて来た、あの素晴らしい馬を思うと、さもあらんと合点がいき、その幸運にあやかりたいという思いを強くしますね。

しかし、それにあやかるには自分の生き方もそれに合わせなければ、とされているように思えるのです。

“きょううまくいく” “きょう幸せになれる”とプラス思考で、希望をもって進みなさい。そうすれば必ず道は開けるということに違いない、と

思ったのです。明るい希望に顔を向けると、暗い不安、心配、嫌な辛い思いの陰はおのずと自分の後ろに退きます。それを望んでいますが、しかしマイナスの力は本当に強いので、分かっているもついつい引きずられ負けてしまう弱い私達です。

けれど今年は「午年」にあやかって神様に守られる中で、多くの方達のご支援を頂いている中で、入居者の方も、職員の方も、“大丈夫うまくいく、幸せがくる” そんな明るいプラス思考で生活を楽しめる、愛の園大家族であって欲しいと心から願っております。

新年早々素晴らしい句が飛び込んできました。「今日よりは 明日はきっと良くなると 信じて行かねば 道は開けず」色々と思い巡らしました。

皆さん今年もどうぞよろしく願い致します。



新しい年が平和でお恵み豊かな年となりますよう、皆様のご健勝に合わせお祈り申し上げます。

(1 ユニットのお正月飾りから)

「今年の抱負」 年男・年女の職員から

仕事をする上で私が一番心掛けていることは、できるだけ入居者の方々のペースに合わせるということです。

私たち介護の仕事に就く者は入居者皆さんのご家族ではないからこそ、冷静に状態変化や性格、嗜好などを把握することもできるかと思えます。

入居者お一人お一人に合わせた支援をしなければいけないことは言うまでもないことですが、毎日接している入居者の皆さんの立場に立ち、「もし自分だったら・・・」という視点を忘れる

ことなく、初心に戻り、また新たな気持ちで日々の介護に取り組んでいきたいと思っています。

介護職員 木村しずか

月日が過ぎるのは早いもので平成 26 年馬年となり僕は年男となりました。生まれてから 2 回年男を経験していることになりましたが、前回は 12 歳で小学 6 年生の時・・・と言われてもあまりピンとこないのが実際の所です。

ただ幼いころから両親が共働きで、祖父と祖母に面倒を見てもらったのは今でも覚えています。小さい時からお年寄りの方と接する機会が多かったので、介護の仕事に対してなんとなくはありますが興味を持っていったのではないのか？と昔を思いだすとそう感じます。

その原点の気持ちを忘れず驚馬十駕(どばじゅうが)の気持ちでいけるよう、今年目標にしたいと思います。 介護職員 菅根克幸



木村しずか (11 ユニット)



菅根克幸 (5 ユニット)



豊かに厳かに、愛の園のクリスマス

介護職員
澤井慶子



聖劇のひとつ



家族の会(滝本秀暉会長)よりクリスマスプレゼントとして大型加湿器3台を寄贈いただきました。ありがとうございました！ 12/25

昨年、初めてで不安もありましたが、クリスマス担当職員として参加させていただきました。

24日のクリスマスイブは、入居者の皆さん、ご家族の方、そして地域の方々や職員がクリスマス礼拝に参加いたしました。

厳かなキャンドルサービスの後は、参加者によって各ユニットを巡るキャロリングが行われ、私は3階を担当させていただきました。

各ユニットでは趣向を凝らした素敵なクリスマスの飾りが準備され、入居者の皆さんがローソクに火を灯して迎えてくださいました。リビングで「きよしこの夜」を歌ってクリスマスの訪れをお伝えしました。

25日は聖劇(降誕劇)があり、控室では出演する職員、入居者の皆さんが衣装に着替えて本番を待ちました。私も黒子として参加させていただき、本番では失敗しないようにと気をつ

けながら与えられた役割を努め、聖劇が無事終了した時はとても安心しました。

聖劇が終わった後にはサンタクロースとトナカイが登場し、各ユニット毎にプレゼントを届けてくれました。プレゼントを受け取った入居者の方々は、とても嬉しそうにしておられました。クリスマス会も「あっ」という間に終わり、楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。



キャンドルに彩られたリビングでのキャロリング

リレーエッセイ(19) 「レコードに魅せられて」

介護職員
永井賢太

私の趣味は音楽です。家や車で親が洋楽等を聴いていた影響もあり、小学生の頃から音楽にはまっていくようになりました。中学校に入ると友達や周りの人間の影響でギターを始めましたが、あまり長続きしませんでした。それから時は立ちましたが、成人しても音楽好きは止まりません。レコード屋で様々なレコードを買い漁る日々が始まりました。

今やインターネットを使ってボタン一つで音楽が買える時代なのになぜレコードなのか、そもそもレコードの新品(新譜)は売っているのか

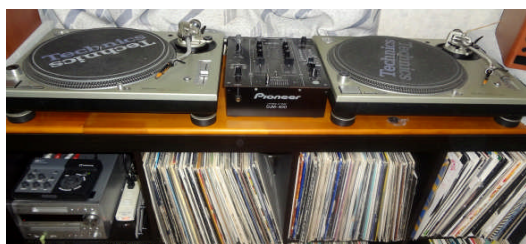
と思われるでしょうが、もちろん新しい物も出ています。

ちょっと立ち寄った中古レコード屋に格安で掘り出し物が見つかったりする場合もあり、なけなしのお金をはたいて自分なりの1枚を買うという行為が良いという方もいます。

しかし、レコードの良さは色々ありますがやはり1番は音の質感だと私は思います。

CDやPC等ははっきりとした聞こえ方はしますがどちらかと言うと無機質で、レコードは丸みがあって柔らかい聞こえ方がすると言われていいます。人それぞれの好みや聞こえ方もありますが、一晩通して大音量で聴いてもレコードから流れる音のほうに疲れないとも言われています。これからも音楽を楽しみ、レコードを買い漁る日々が続くと思います。

次は11ユニットの瀬見紋加さんにバトンタッチします。



「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

ainosono@shinai.or.jp

ホームページもご覧ください。
バックナンバーを掲載しています

<http://shinai.or.jp>

1~2月の愛の園

- 12(日) 日曜礼拝
- 14(火) マリア会
- 16(木) やまびこ会
- 17(金) 社協ボランティア来園
- 19(日) 日曜礼拝
- 21(火) ひまわり会
- 23(木) やまびこ会
- 26(日) 日曜礼拝
- 28(火) マリア会
- 30(木) やまびこ会

- 2(日) 日曜礼拝
- 3(月) 節分の豆まき
- 4(火) マリア会
- 6(木) やまびこ会

編集者から

明けましておめでとうございます。

昨年ボランティア、家族の会、後援会の皆様はじめ多くの方々のご支援・ご協力を頂きありがとうございました。

愛の園では1月6日に杵と石臼を用意し新春恒例の餅つきを行いました。入居者の方々も順番に職員と一緒に杵を持ち、ヨイショ、ヨイショと掛け声をかけながら餅をついてくれました。できたお餅を丸めておられる入居者の皆さんの楽しそうな笑顔を見ているところからも自然と笑顔になり、またこのような楽しい時間を共に過ごしたいと思いました。

今年も宜しくお願い致します。(I)